

代表質問



大野小学校入口交差点

自由民主党

かいづ 勉 佐藤 幸則
中山 幸紀 宮田 かつみ

道路整備

問 都市計画道路3・4・18号は、平成27年度末に供用開始とのことだが、現在の工事の進捗状況を問う。また、本道路の開通に付随する、大野小学校入口交差点の改善のための信号機設置はいつになるのか。

答 現在、国道14号から八方橋までの区間に、未買収地が4カ所、不法占有地が2カ所ある。八方橋から本北方橋までの区間の工事は八幡6丁目排水機場脇の流域下水道川幹線の工事区間を除いてほぼ完成、国道

14号から八方橋までの区間は京成本線直下横断部築造工事が完成、国道14号から京成本線までの道路築造工事は約70%の進捗状況である。また、大野小学校入口交差点の改良計画は、交差点に斜めに合流する市道3196号に車止めを設置するため、迂回路として企業庁用地の取得を27年夏頃に見込んでいる。信号機については、押しボタン式から車両用信号機と歩行者用信号機を3カ所ずつ設置することで県警と協議を進めている。市は27年度の交差点工事は完了時期に合わせた設置を要望しているが、現時点では明確な回答はない

パスポート事務

武蔵野線新駅設置

問 施設方針策定に当たり、市長の基本的な考え方として、国や県の施策であつても、その施策に積極的に取り組んでいくために盛り込む場合もあるとのことだが、平成26年度施設方針に載せたバスポート事務の権限移譲を、27年度施設方針に載せなかったのはなぜか。

答 バスポート事務については、25年秋に県知事が市町村に権限移譲することを表明したことにより、手続を進めていたことから26年度施設方針に盛り込んだものである。しかし、県の条例改正が必要であること等から、未だに具体化されていない。これまでに県による説明会等が開催され、権限移譲に向けた事務は進められているが、その時期が示されていないことから、27年度施設方針での記述は見送った。今後も権限移譲の要望を続け、県の条例改正が行われ次第、速やかにバスポート事務の開設に取り組みたいと考えている。

問 武蔵野線の新駅設置については、北東部スポーツタウン構想と共に、北東部の住民が期待している。街の将来像をどのように考えているのか。また、地域でのアンケート調査はいつ実施する予定で、その結果はどのように活用するのか。

答 新駅周辺の街づくりとしては、賑わいや活気、更に周辺の環境に配慮した低炭素社会の実現に寄与するスマートタウンにより、自然と人が共生する街を目指していく。また、アンケート調査は平成27年3月上旬を予定しており、土地の利用状況や地域への思いを聴き、その結果は、27年度に予定している、地域の人と協働で街づくりを検討するワークショップで活用していきたいと考えている。

無所属の会・市民ネット

越川 雅史 増田 好秀
秋本のり子 湯浅 止子

小中一貫教育

問 平成27年度、小中一貫教育のモデル校として塩浜

学園が開校する。そこで、本校が他の小規模校に与える影響を、市はどのように想定しているか。また、小中一貫校の設置は、少子化に伴う学校の統廃合の契機

保育園整備

活用して国民健康保険税を引き下げる自治体もあるが、低所得者世帯の保険税を引き下げる考えはないか。

答 今回の保険者支援制度の拡充による本市の影響額としては、約2億4千万円の歳入増となり、一般会計からの法定外繰入金の一部が解消される見込みである。この措置は保険者である市町村への財政支援であり、本市の法定外繰入金金の抜本的な解消にはならず、保険税率の引き下げは現状では困難と考えている。

問 認可保育園の申し込み数は、平成27年2月現在で1391人である。今後、待機児童をどう解消していくのか。また、子ども・子育て支援新制度による規制緩和で、保育の質に格差が生じるのではないかと懸念している。質の良い保育をどのように促していくのか。

答 27年度に施行される子ども・子育て支援事業計画の中で、31年度までの潜在的ニーズを含めた調査を基に、必要となる園の整備数を算定し、現在よりも約2千人の定員増を計画している。このため、現在の待機児童にも対応できると考えている。また、新制度においては、認可保育園だけでなく、新たに市町村の認可

地域包括支援センター

問 地域包括支援センターについて、施設方針では現在の4カ所から15カ所へと増設する旨が示されている。

センターの増設に伴う体制の整備、及び増設によるサービスへの影響について、市はどう考えているか。また、センター事業に係る委託料の積算の考え方を問う。

答 現在あるセンターのうち2カ所は直営型であり、増設後は直営型センターが15カ所のセンターの統括

ロケの誘致

問 本市には、映画やテレビドラマのロケ地となった観光名所が数多くあり、これら既存リソースの有効活用は、シティセールスや観光政策の観点からも重要である。そこで以前、撮影許可の手続を簡素化し、利用条件等を精査すれば、ロケ

の利用頻度も増えるのではないかと提案した。これまでの撮影ないし撮影許可に関する実績や問い合わせ等の状況はどうなっているか。

答 市は映像作品の撮影許可については、映像制作会社からの問い合わせ窓口の一本化や撮影支援施設をWEBで発信する等手続の簡素化、迅速化を積極的に図ってきた。その結果、市内での撮影実績は平成26年で45



市内でロケが行われた場所（里見公園）